

2022年1月21日

三井住友海上火災保険株式会社
ジョージ・アンド・ショーン株式会社

「大阪スマートシニアライフ実証事業推進協議会」への参画について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(代表取締役社長:船曳 真一郎、以下「三井住友海上」と)とジョージ・アンド・ショーン株式会社(代表取締役社長:井上 憲、以下「G&S」と)は、本日「大阪スマートシニアライフ実証事業推進協議会」に両社で参画しましたので、お知らせします。

本協議会は、大阪府域全体における住民の生活の質(QoL: Quality of Life)の向上に向けて、特にシニア層の抱える課題をICTの活用により解決することを目的に設立されました。

三井住友海上とG&Sは、本協議会の活動を通じて、高齢者にやさしいまちづくりの実現に向け、志をともにする他の参画事業者とともに、社会との共通価値の創造(CSV: Creating Shared Value)に取り組んでいきます。

1. 参画の背景

日本国内は、既に超高齢社会を迎えており、それに伴い国内の認知症患者は年々増加しています。内閣府によれば、65才以上の認知症患者は2025年には約700万人に達するといわれています。こうした環境において持続可能な社会を実現するためには、認知症に至る前の軽度認知障害(MCI)の段階で兆候を察知し、認知症予防策を提供できるサービス開発が期待されています。

三井住友海上とG&Sは、認知機能推定AIにより高齢者の認知機能低下を検知する技術の共同研究を行います。認知症等の予兆を早期に発見すると同時に、認知機能低下の改善策を提供できるサービスの実現を目指します。

2. 実証事業について

(1) 実証事業の概要

専用タブレット上で以下のサービス*を提供し、効果検証を行います。

- ①高齢者向けオンラインコンテンツを活用した認知機能改善シニアサポートサービスの提供
- ②タブレット搭載の各種センサーを利用した認知機能低下の検知機能の提供

(2) 2022年中に開始予定のエリアと対象者

堺市南区(泉北ニュータウンを含む全域)、河内長野市(南花台)、大阪狭山市(狭山ニュータウン)のシニア層およびその家族

※本実証実験にて活用するG&Sのサービス「Cognivida(コグニヴィーダ)」

高齢者の方々の生活習慣データから脳の認知機能を推定するAIエンジン。

検知に用いるデータは「位置情報の履歴」、「睡眠サイクル」、「家電利用の状況」、「対話データ」等、広範なデータからの推定を可能としている。[グッドデザイン賞2021]受賞。

3. 本協議会の概要

名称	大阪スマートシニアライフ実証事業推進協議会
構成	大阪府、民間企業23社
会長	大阪府スマートシティ戦略部長 坪田 知巳
幹事会	会長を補佐する幹事社7社で構成
事業URL	https://www.pref.osaka.lg.jp/chiiki_senryaku/smart_senior_life/index.html

<ご参考>

三井住友海上火災保険株式会社

三井住友海上は、MS & AD インシュアランス グループの中核を担う損害保険会社で、グローバルな保険・金融サービス事業を展開しています。特にアジアでは、ASEAN10 カ国すべての国で元受事業を行っている唯一の損害保険会社として、世界トップクラスのネットワークを誇っています。

- ・代 表：代表取締役社長 船曳 真一郎
- ・本店所在地：東京都千代田区神田駿河台 3-9
- ・電話 番 号：03-3259-3111（代表）
- ・Web サイト：<https://www.ms-ins.com/>

ジョージ・アンド・ショーン株式会社

「少しでも優しい世界を創ろう。」をビジョンに掲げ、位置情報見守りタグ「biblle(ビブル)」や高齢者施設向け安否確認システム「施設 360° (シセツサンロクマル)」の提供、またこれらサービスを介して収集される生活習慣情報を AI 解析することで高齢者認知機能の推定を行うサービス「Cognivida」の開発や、高齢者認知症に関連する社会課題解決のための事業を展開しています。

- ・代 表：代表取締役社長 井上 憲
- ・本社所在地：東京都渋谷区神宮前 6-23-4 桑野ビル 2 階
- ・電話 番 号：03-3405-7230（代表）
- ・Web サイト：<https://george-shaun.com/>

以 上